

## 加入者の皆様へ



平素より協会けんぽの運営につきましては、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

協会けんぽでは、加入者の皆様のお薬代の負担軽減や、医療費や保険料率の伸びの抑制につながることから、「ジェネリック医薬品」の普及を推進しています。

これまでの軽減効果を踏まえ、今年度も引き続き「ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の軽減可能額に関するお知らせ」をお送りいたしました。

この「お知らせ」は、処方されたお薬を「ジェネリック医薬品」に切り替えた場合に、どのくらいお薬代が軽減されるか試算したものですので、ジェネリック医薬品への切り替えをご検討いただく際にご活用ください。

協会けんぽは、ジェネリック医薬品の使用促進や健診等の保健事業の推進に努めてまいります。協会けんぽの運営につきまして、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国健康保険協会 ○○支部  
支部長 ○○ ○○

## ジェネリック医薬品ってどんなお薬なの？

効き目や安全性は  
先発医薬品と同等と  
厚生労働省から  
認められたお薬です



なおかつ先発医薬品の有効成分を利用して開発しているため**価格は3割以上、中には5割以上安くなる場合があります。**

服用しやすいお薬へ  
製造工夫が  
図られています



- 製剤の小型化** 大きさを小さくし飲みやすく改良。
- 剤形の変更** 飲みやすい形状に改良。
- 味の改良** にがみ等を抑えた味に改良。

## ジェネリック医薬品に切り替えたいときは？

病院や診療所での  
診察時に  
**ジェネリック**を  
使いたいと  
医師に伝える



または

薬局で  
**ジェネリック**を  
使いたいと  
薬剤師に伝えて  
相談する



※医師の判断により切り替えできないことがあります。

※薬局によりジェネリック医薬品の在庫状況が異なることもあります。



全国健康保険協会 ○○支部  
協会けんぽ

## ジェネリック医薬品はどれくらい使われているの？

ジェネリック医薬品には、高血圧や糖尿病などをはじめとした身近な疾病を対象としたものもあり、徐々に普及してきています。

平成27年3月には、**約6割**の方\*<sup>1</sup>が  
ジェネリック医薬品を利用されています。  
ご理解・ご協力ありがとうございました。

\*1: 平成27年3月に医療機関等にかかれた約1,460万人のうち、約884万人の方がジェネリック医薬品を利用されています。

例えば

お薬を長期に服用されている方は、  
1年間で試算するとこんなにお薬代を軽減することができます。

1年間で試算すると

**8,988円**  
軽減可能  
(749円\*<sup>2</sup>×12カ月)



生活費に置き換えると

スマートフォン代\*<sup>3</sup>  
**約1カ月分**  
(8,642円/月)



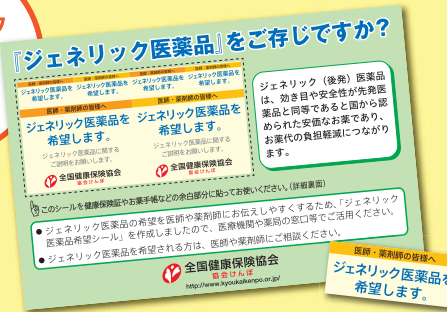
\*2: 749円は直近の平均軽減可能額の実績

\*3: 出典／総務省 平成27年版情報通信白書

## ジェネリック医薬品希望シールをご利用ください。

ジェネリック医薬品の希望を医師や  
薬剤師にお伝えしやすくするための  
「ジェネリック医薬品希望シール」を  
同封しています。

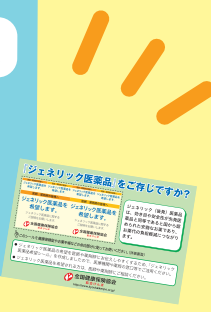
ジェネリック  
医薬品  
希望シール



【保険証】や【お薬手帳】に添付して、  
診察時に窓口へご提示ください。

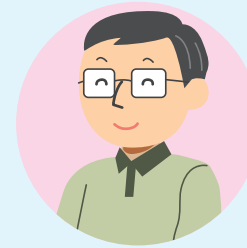
保険証

お薬手帳



※シールの追加をご希望の方はサポートデスク(裏面記載)へご連絡ください。

## 加入者の声



医師にこの手紙を  
見せて相談したら変  
更することができまし  
た。ありがとうございました。

(30代男性)



薬局で親切にアド  
バイスしていただい  
て、ジェネリック医薬品  
に変更でき、お薬代が  
軽減されました。

(40代女性)



大変分かり易い内容  
の通知書で、ジェネ  
リック医薬品に関し  
て詳しく知るきっか  
けになりました。

(50代男性)



飲み続けている薬  
がジェネリック医薬  
品に変更出来ること  
がありがた、負担を減ら  
すことができました。

(60代女性)



医療費の負担が軽  
減されることは素晴ら  
しい。今後の取組み  
にも大変期待してい  
ます。

(60代男性)

## 協会けんぽの取組み

ジェネリック医薬品の更なる使用促進効果を着実なものとするため、地域の実情に  
応じて、医療機関関係者や薬局関係者への働きかけ、セミナーの開催等を通じて  
地域における積極的な広報活動を推進しています。



ご存じですか？花粉症のお薬にもジェネリック医薬品があります。

**花粉症の方**にはもっともつらい季節がやってきました。花粉症は内服薬・点鼻薬・点眼薬と、複数のお薬を使用することがあり、その分お薬代も高くなります。花粉症の症状を緩和するためのお薬代は、**ジェネリック医薬品**を使用することで軽減できます。是非ご検討ください。



《花粉症治療薬》先発医薬品とジェネリック医薬品のお薬代比較例

よく使われる「飲み薬」の一例

1日2錠の服用・2週間分を処方された場合は…

先発医薬品 約590円

▼

ジェネリック医薬品 約340円

約**250円**オフ！

よく使われる「点眼薬」の一例

1日4回の点眼・2週間分を処方された場合は…

先発医薬品 約430円

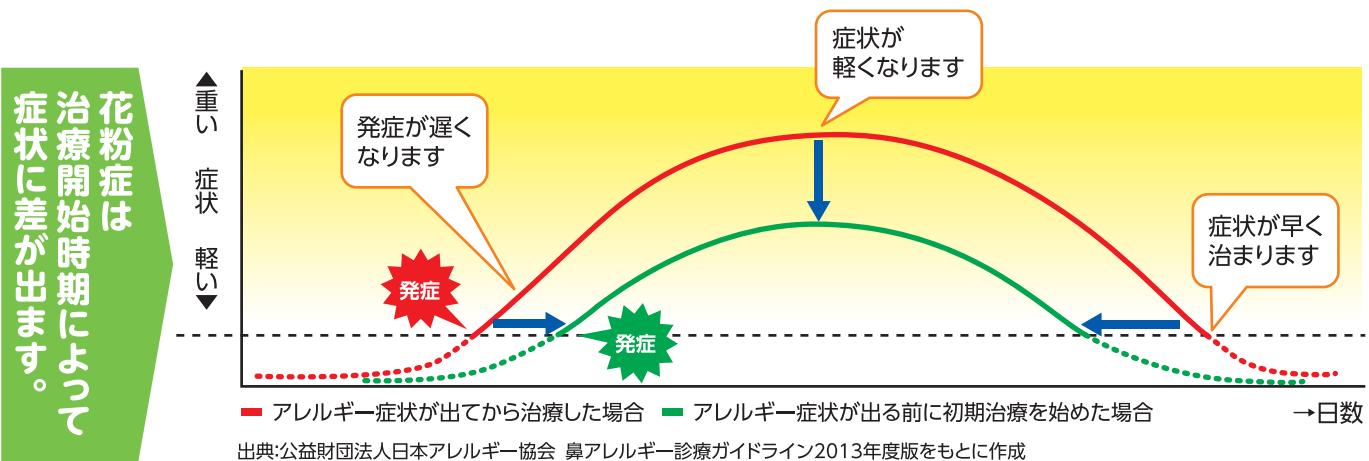
▼

ジェネリック医薬品 約310円

約**120円**オフ！

プラス

※上記はお薬代のみの金額(3割負担)の一例です。実際に医療機関や薬局へお支払になる金額には、お薬代以外の診療や調剤等に要する費用が加算されます。



さあ、早期治療とジェネリック医薬品の活用で今年の花粉症を乗り切りましょう

ジェネリック医薬品に関する「お知らせ」の見方

**見・本**

ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の軽減可能額に関するお知らせ

処方されたお薬や支払われたお薬代は、この月分をもとに試算しています。

平成27年10月分 に処方されたお薬のうち、以下の医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合

お薬代の軽減可能額 850円～

(10円未満切り捨て)

ジェネリック医薬品に切り替えることによって軽減できる1ヶ月のお薬代の目安です。

※お薬代以外の診療等に要する費用は含まれていません。

処方されたお薬(先発医薬品)の名称を記載しています。(医療機関、薬局ごとに記載しています。)

既にジェネリック医薬品を服用されている分は、「ジェネリック処方分」としてまとめて記載しています。(医療機関、薬局ごとに記載しています。)

1ヶ月にかかったお薬代を記載しています。

※お薬代以外の診療等に要する費用は含まれていません。

この明細は、平成27年10月分の処方実績をもとに、処方された医薬品(先発医薬品)と、主成分が同一のジェネリック医薬品に切り替えることで軽減できるお薬代をご紹介します。

| 明 細            | 平成27年10月分の処方実績 | ジェネリック医薬品に切り替えることで軽減できるお薬代 |
|----------------|----------------|----------------------------|
| 医療機関・薬局区分      | お薬代(3割負担)      |                            |
| 先発医薬品名等        |                |                            |
| 病院             |                |                            |
| ◎錠1mg          | 500            | 390～                       |
| ◎錠5mg          | 220            | 130～                       |
| ◎錠10mg         | 150            | 30～                        |
| ◎錠1mg          | 40             | 20～                        |
| ◎錠5mg          | 60             | 20～                        |
| その他(ジェネリック医薬品) | 90             |                            |
| 小計             | 1,060          | 590～                       |
| 薬局             |                |                            |
| ◎錠10mg         | 400            | 260～                       |
| その他(ジェネリック医薬品) | 50             |                            |
| 小計             | 450            | 260～                       |
| 合計             | 1,510          | 850～                       |

《注意事項》必ずお読みください。

- ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の軽減可能額のうち、最も低い額をお示ししています。
- 試算はお薬代のみを対象としています。実際に医療機関や薬局へお支払いになる金額には、お薬代以外
- ジェネリック医薬品については、最新の情報にてご案内していますが、その後お薬代が変わる場合があります。
- 処方されたお薬によっては複数のジェネリック医薬品が存在するため、この「お知らせ」に記載している金額と異なる場合があります。

ジェネリック医薬品を調べたい・相談したい

●ジェネリック医薬品を調べたい  
●取扱い医療機関を調べたい

日本ジェネリック医薬品学会

かんじゃさんの薬箱 検 索

http://www.generic.gr.jp

●ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の差額を知りたい

日本ジェネリック製薬協会

かんたん差額計算 検 索

http://www.jga.gr.jp

●ジェネリック医薬品の品質や安全性について相談したい

独立行政法人  
医薬品医療機器総合機構

「医薬品・医療機器相談室」  
☎03-3506-9457

月曜日から金曜日  
9:00～17:00(土・日・祝を除く)

ご質問ご相談 サポートデスクへお問合せください

0120-124-600

(FAX:0120-124-602)

受付時間

8:30～17:15

(土・日・祝日含む)

- お問合せには「お問合せ番号」が必要です。「お知らせ」をお手元にご用意ください。
- 今後「お知らせ」が不要の方は、お手数ですが左記の番号に電話またはFAXにてご連絡ください。
- FAXによる不要連絡は「お知らせ」のあて名が印字された面の余白に「通知不要」とご記入のうえお送りください。
- サポートデスクは、平成28年4月30日で終了となります。以後は協会けんぽへご連絡ください。